（日刊建設通信新聞社　掲載許諾済み）

皆でルール守る

三遠道3号T新城地区舗装
現場で佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は10月27日、国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所発注の「令和４年度三遠道路３号トンネル新城地区舗装工事」（愛知県新城市）で安全パトロールを行った＝写真。石井社長のほか、中部支店の高畑一幸執行役員支店長、小刀禰豊安全環境部長、大隈清光営業部長、三河営業所の園田弘和所長が参加した。

パトロールでは安全意識の高揚と災害撲滅を目的に、工事の進捗状況や安全衛生管理活動を確認した。

高畑支店長は「危険なポイントを事前に把握し、適切に対応して最後まで気を緩めず、無事故・無災害で工事を完成してほしい」と要請した。

石井社長は講評で「工事は連続鉄筋コンクリート舗装で、現場は整理整頓ができており、安全な状態で作業していることを確認した。コンクリート舗装の打設完了後は監視員通路側の作業となるが、作業帯と通行帯の明示や車両旋回場所の特定など、現場でのルールを皆で定めて、皆で守り、無事故での完成を」と呼び掛けた。